

里



里のトンボロ



水中展望船きんしゅう



内侍舞

毎年6月の第1日曜日に、地域活性化委員会「甌きばらん海」主催による「イカつり大会」が開催されます。6回目を迎えた今年の大会には、157人(島外からは139人)の参加がありました。前夜祭では地元スタッフとの交流会が盛り上がり、大会本番ではポイントや仕掛けなどの情報交換も行われ、参加者たちが大物を釣り上げていました。



里地域には、南北1500mに渡るトンボロ(陸繋砂州)があり、日本三大トンボロにも数えられています。かつてはそれぞれ独立した島だった遠見山と上甌島の間に、海流や波風によって砂や小石が堆積し、地続きとなったものです。その上に、里の町並みがあります。

里の町中の亀城近くに、武家屋敷跡があります。整然と積み上げられた玉石垣と生け垣の緑が美しく、初夏には鮮やかなカノコユリも楽しめます。

甌島の北東端にある里町では、恵まれた自然環境と海の幸を満喫することができます。川内港から高速船甌島に乗り40分で行くことができ、甌島本土に最も近い町でもあります。



亀城跡



里武家屋敷跡

里港発着の「水中展望船きんしゅう」に乗ると、美しいサンゴ礁や色鮮やかな熱帯魚など、海中散策が楽しめます。

八幡神社の秋の大祭で奉納される「内侍舞」は、古式豊かな神楽舞の一種で、中学校の女子生徒たちが舞妓を務めます。原型のまま伝承されている貴重な舞は、県指定の無形民俗文化財に指定されています。

毎年8月13日には、五穀豊穣を願う伝統行事の「かづらたて」が開催されます。早朝に山から採ってきたクズかざらをつなぎ合わせて綱を作り、それを大蛇に見立てて、地域内を練り歩きます。化粧をした踊り手が、かざらの上に乗って踊るといふ勇壮な姿も見られます。先頭は大漁旗を持った踊り手たちが、ほら貝や鉦のリズムに合わせて踊ります。地域が一つになり、大いに盛り上がる行事です。

- 主な2月の10周年記念イベント**
- ◆2月8日(日) 清色城跡国指定・旧増田家住宅国指定記念講演会
 - ◆2月21日(土) 「助八古道を歩こう会」下甌島横断ライトトレッキング
 - ◆2月21日(土) 川内駅おもてなし事業
 - ◆2月21日(土)〜22日(日) 生涯学習フェスティバル&次世代エネルギーフェア
 - ◆2月22日(日) いわた池梅マラソン大会
- * 問合せ先などは、市ホームページのイベントカレンダーをご覧ください。

「水中展望船きんしゅう」
Aコース…9:30発 40分コース
Bコース…14:00発 60分コース
(写真は内部)

犬島 野島 筒島 射手崎 瀬戸口 市の浦海水浴場 白瀬鼻 冠崎 遠見山 トンボロ 松林 トンボロ 里港 八幡神社 武家屋敷跡 遠目木山 嶺の山 風力発電 トンボロ ビューポイント

長目の浜 長目の浜展望所 釜崎展望所 荒人崎 釜崎池 釜崎

10th 祝 薩摩川内市市制施行10周年

【問合せ先】=本庁総務課 ④(23)5111(内線4531)

テレビや新聞で電気自動車の話を聞くけど、実際はどんな自動車なんだろう？

熱男さん



▲e-NV200(日産自動車株式会社)



▼MINICAB iMiEV(三菱自動車工業株式会社)

防災にも役立つとは、私たちに心強いね

森三さん ウミさん

必要となる急速充電スタンドの市内整備も進んでいます

電気自動車が本格的に普及するためには、一定の充電スタンドの整備が必要です。

本市では、電気自動車利用者の利

本市では現在、次世代エネルギーを活用したまちづくりを進めています。

そのことから、エネルギーのつくり方だけではなく、使い方にも着目しており、エネルギーを使用する活動の一例として、公用車に電気自動車(EV)を10台導入しました。

電気自動車は、「次世代自動車」として、今後の普及が期待されています。二酸化炭素(CO₂)を全く排出しないため、環境にとっても優しい自動車です。地球温暖化などの環境問題が深刻化する中で、今後、広く導入されるのが期待されています。

また電気自動車は、屋外など他の設備などに電気を供給することもできます。そのため、「走る蓄電池」として活用できることも大きな特徴です。

本市が導入した日産自動車株式会社のe-NV200(7人乗り自動車)は、一般家庭の約2日分、三菱自動車工業株式会社のMINICAB iMiEV(4人乗り自動車)は、一般家庭の約1日分の電気を、非常時に供給します。

本市では、今回導入した10台をイベントや防災対策などに積極的に活用していきます。



▲電気自動車(EV)の電源供給のイメージ *出典:日産自動車株式会社ホームページ

アウトドアや停車の時に、車の電気が使えるってすごく便利!

水枝さん

充電インフラの整備については、国、自動車メーカー、民間事業者なども一体的に進めており、市内のいくつかの商業施設に整備されています。

充電インフラの整備については、国、自動車メーカー、民間事業者なども一体的に進めており、市内のいくつかの商業施設に整備されています。

急速充電器の主な設置場所	
①市役所本庁	⑧臥竜梅の里 清流館
②樋脇支所	⑨ニシムタ上川内店
③東郷支所	⑩ファミリーマート 川内原田町店
④祁答院支所	⑪ファミリーマート 入来日ノ丸店
⑤川内駅東口駅前広場	⑫ファミリーマート 川内空港バイパス店
⑥川内港高速船ターミナル	⑬ファミリーマート 東郷斧刈店
⑦総合運動公園	

急速充電器のイメージ (株式会社東光高岳) *出典:EV Charger Japan ホームページ

電気自動車ってかっこいい! 乗ってみたいな!

ひかりちゃん 風太くん

【問合せ先】=本庁 新エネルギー対策課 新エネルギー対策グループ ④(23)5111(内線5521、5522)

次世代エネルギーを活用したまちづくり

今回は、次世代エネルギーを活用したまちづくりの関連事業として、公用車への電気自動車(EV)導入事業と電気自動車用の充電インフラ整備事業について、皆さんにご紹介します。